

声のご紹介

①個人の働き方の意識が変わり、結果として生産性(効率の維持・アップ、内容の維持・アップなど)がどうだったか

⇒**個人の意識が変わり、生産性アップにつながっている。**

特に業務効率・質の向上などの実際の生産性の成果がテスト実施よりも数値が高くなっている。

➤意識変化についてのオープンアンサー

- 在宅勤務日に何の仕事をするかを考える上で、意識をするようになった。
- 在宅勤務日の時間の使い方を考える上で、成果やアウトプットを意識するようになった。
- 在宅日にやったほうが効率的な業務を整理するようになり、業務のメリハリがつけれるようになった。

➤生産性についてのオープンアンサー

- 在宅勤務日に適した仕事を持ってきて、集中して行うことにより、アウトプットを意識し、結果として質もあがった。
- 思考の流れを妨げることなく、企画のロジックを組み立てていけるので、集中できる。また制作物のクオリティをあげることができる。
- 企画の精度が高まり、検討会などの回数・負荷を減らすことができた。
- 在宅日は残業できないため、社内にいるときよりも時間配分に気を使うようになった。
 - ×USBが思った以上に使いにくい。
 - ×自宅だと集中力にかける。気持ちの切り替えが難しい。子供が家にいると集中力にかける。

②個人のWLMに効果があったか。⇒**個人の物理的・精神的充実度が増している。**

➤WLMについてのオープンアンサー

- ・通勤時間が削減されることで、精神的・肉体的な疲労が減った。
- ・家事(夕食・子供の迎え)を分担できた。(奥様が)子供と一緒に過ごす時間が増えたことを喜んでいた。
- ・子供が喜んでいた。(保育園に迎えに行く時間が早くなった、小学生が帰宅したときにうれしそうなど)
- ・夕食が充実した。家族と夕食を一緒に食べれた。
- ・普段行けない、病院に行けた。